

平成26年度 福祉教育研究発表会 開催要綱

1 目 的

これまでは主に、児童・生徒の豊かな人間関係を築くための学校を中心とした福祉教育が実践されてきました。これからは、社会福祉の制度やサービスに頼るだけでなく、地域住民自らが様々な福祉活動に積極的に参加し、安心して共に暮らしていける地域づくりを進めていくことが求められています。

そのためには、学校や地域の市民活動団体など様々な立場にある人たちがその特性を活かしながら連携して、地域を支える人づくりのための福祉教育に取り組む必要があります。

本研究発表会では、児童・学生のボランティア活動の成果を発表するとともに、「福祉とは何か」について考える機会をつくり、今後の学校や家庭、地域における福祉教育の推進を図ることを目的に開催します。

2 主 催 社会福祉法人大分県社会福祉協議会

3 後 援 大分県教育委員会

4 開催日時 平成26年11月16日（日）10：45～15：00

5 会 場 大分県総合社会福祉会館 3階大研修室及び4階大ホール
(大分市大津町 2-1-41, TEL. 097-558-2945)

6 参加対象者

- 1) 児童・学生及び保護者、学校関係者
- 2) 民生委員・児童委員、自治会、行政、市町村社会福祉協議会職員
- 3) 企業、ボランティア団体、NPO法人等福祉教育に関心がある方

7 定 員 70名 ※定員に達しましたら締切ります。

8 日 程

10:00 10:45 11:00 12:10 13:00 14:20 15:00

受 付	開 会	実 践 活 動 発 表	休 憩	講 演 「生かされて今、輝く命」	閉 会
--------	--------	----------------	--------	---------------------	--------

10：00 受 付

10：45 開 会

11：00 実践活動発表

小学校・中学校・高等学校から福祉教育・ボランティア活動実践報告を行います。

小学校の部・中学校の部・高等学校の部（発表校選定中）

12：10 休 憩

13:00 講演「生かされて今、輝く命」

講師 元幼稚園教諭・保育士 又野亜希子 氏

<講師プロフィール>通勤途中の交通事故により頸髄を損傷し、突然車椅子の生活となった自身の経験を通し、命の尊さを語ります。夢や希望に向かって精一杯生きようとしな、自分と違う存在を認めようとしなといわれている子どもたちが増える中、「命の重さ」「愛の力」を優しく丁寧に伝えます。

事故に遭い車いす生活の自分も自分、今の自分が好き—いのちの大切さについて、どんな人でも光り輝く社会について自身の経験をもとに伝えていただきます。

■経歴

幼稚園教諭として勤務後、結婚を機に退職。結婚後、保育士資格を取得し保育士として勤務。勤務後3か月半、出勤途中の交通事故により頸髄を損傷し、重い障がいが残った。

生きる希望をも失った中、新しい命を授かり、無事に第1子を出産。

たくさんの人の協力を得て、車椅子で子育てしながら、生きる喜び、命の尊さを実感し、講演活動や執筆活動など充実した日々を送っている。

■テレビ出演等

TBS報道番組イブニングファイブ、TBS報道番組命の輝きスペシャル、TBS報道番組ひるおび!、TBS報道番組感動の絆ドキュメント「ママは絶対負けない…」、テレビ東京 生きるを伝える HOPE for tomorrow～感謝を伝える3分間～ 他

■著書

『ママの足は車イス』（あけび書房）

絵本『ちいさなおばけちゃん と くるまのななちゃん』（あけび書房）

14:30～ お楽しみ抽選会

15:00 閉会

9 参加費 参加費無料です。

10 その他（留意事項等）

1) 参加希望の方は、別紙参加申込書により **10月31日(金)まで**に下記事務局あてお申し込みください。

なお、事前参加申込者には軽食(おにぎりと豚汁の予定)を用意しますので、必要な方はあわせてお申し込みください(原則当日申込はできません)。

2) 当日は10時より会館内で「身体障害者福祉センターふれあいフェスタ」を開催していますので、お時間がある方はぜひご参加ください。

3) 駐車場に限りがあります。福祉会館が満車の場合は、大分運輸支局(福祉会館から徒歩4分)に駐車してください。公共交通機関またはできるだけ乗り合わせお越しください。

11 問い合わせ先

〒870-0907 大分市大津町 2-1-41 社会福祉法人大分県社会福祉協議会

大分県ボランティア・市民活動センター 西村・藤田

TEL. 097-558-3373 FAX. 097-558-1296

E-mail: oitavoc@oitavoc.jp

送付先 FAX. 097-558-1296 または E-mail: oitavoc@oitavoc.jp
大分県ボランティア・市民活動センター 行 **10月31日(金)締切**

平成26年度福祉教育実践研究発表会(11/16) 参加申込書

所属・団体名等：

担当者名：

連絡先電話番号：

No.	氏名	学年・役職等	軽食 要(O)/不要(X)	備考
1				
2				
3				
4				
5				

上記のとおり、参加申し込みします。

平成 年 月 日

———< 留意事項等 >———

- 参加希望の方は、本参加申込書により10月31日までに下記あてお申し込みください。
なお、実践活動発表への参加申込者には軽食を用意しますので、必要な方はあわせてお申し込みください。なお、軽食は持ち帰りできません。
- 駐車場に限りがあります。福祉会館が満車の場合は、大分運輸支局(福祉会館から徒歩4分)に駐車してください。公共交通機関またはできるだけ乗り合わせてお越しください。
- 参加費は無料ですが、定員になりましたら締切らせていただきます。

お問い合わせ

社会福祉法人大分県社会福祉協議会
大分県ボランティア・市民活動センター
TEL. 097-558-3373 FAX. 097-558-1296
E-mail: oitavoc@oitavoc.jp

福祉教育・ボランティア学習のすすめ

【福祉教育の目標】

福祉教育の目標とすべきものは、現在の学校教育が目指すべきものと同一線上にあります。福祉教育は、すべての人を個人として尊重し、思いやりの心を持って助け合う態度を育て、共に生きる人間の育成を目指すものです。

(1) 福祉に対する理解と関心を深める

地域で暮らす児童・生徒が身近なところで暮らしている高齢者、外国人、ひとり暮らしの人等さまざまな生活や生き方があることに気づき、福祉問題、福祉活動の意味や役割に関心を持つことが求められます。

(2) 福祉の心を育てる

すべての人が、社会の大切な存在として尊ばれること、偏見や差別のない人権に根ざす共生と平等の相互の思いやりの心を育て合うことが大切です。

(3) 福祉の実践意欲を向上させ態度を身につけさせる

生活課題を抱えている人への深い思いやりの心をもってボランティア活動に参加してみたいという主体形成がなされる必要があると考えます。具体的に高齢者や障害を持った方々との交流を通して福祉に対する実践的態度を育成することの意義を私たちは「福祉に対する実践的態度を育成する教育」と考えています。

【福祉教育における体験の意義】

福祉教育における体験学習の多くは、ボランティア活動にみられるように、それが生徒の学習経験であるという教育的意義はもちろん、多くのほかの人々の暮らしや生き方に直接的にかかわるという意味で社会的意義をもった体験です。

(1) 生徒の自主的・主体的活動は生徒自身の自発性を伸長する。

(2) 生徒が社会的存在としての自覚を持ち、社会の有意な形成者となる。

(3) ボランティア学習のフィールドは学校と地域社会を結ぶ契機となる。

(4) ボランティア学習は教職員と生徒が共に学ぶ機会を作り出すものであり、教職員と生徒の関係に新風を吹き込む。

(5) ボランティア学習は自身が体験することから始まるもので、教職員が社会的認知を深め、学校のあり方を広い視点から考えることができる。

【福祉教育の進め方】

(1) 研究推進の組織とあり方

福祉教育を学校教育の全教科、全領域に位置づける場合は、福祉教育の推進体制として学校内に「福祉教育推進委員会」あるいは「福祉教育研究部」をおくことを検討する。

＜参考例＞推進（研究）組織化のあり方

(2) 教職員の理解促進

この事業が効果的にすすめられるかどうかということは、学校の教職員の努力によるところが大きい。従って、教職員がまず、社会福祉についてよく理解しその重要性を認識することが大切です。

そこで、次のような方法で教職員が研究の機会をもち、その実績をあげることが必要です。

- ①社会福祉専門家の講演を聞く
- ②福祉関係図書を読む
- ③社会福祉施設の見学
- ④福祉映画などの鑑賞
- ⑤福祉についてのディスカッション
- ⑥福祉教育の公開授業研究
- ⑦指定校相互の情報交換会
- ⑧指定校相互の合同研修会
- ⑨社会福祉関係会議、研究協議会などへの参加
- ⑩先進校視察研修

(3) 研究実践活動

具体的な研究実績活動には次のようなものがあります。

- ①おたより活動
お誕生日カード、敬老の日のおたより活動、年賀状、暑中見舞い、ふれあいメールなど
- ②交流活動
施設訪問による交流活動、施設利用者の学校行事への招待活動、在宅老人の学校行事への招待、ゲートボールを通じての交流、孫の授業参観、老人との給食交歓会、昔の話を聞く会、伝承芸能の伝授、ワークキャンプなど
- ③環境美化活動
学校内の掃除・美化活動、花いっぱい運動、通学路の清掃・美化活動、緑化活動、園芸など
- ④募金・収集活動
赤い羽根共同募金、一円玉募金活動、ベルマーク収集活動、古切手収集活動、廃品回収、各種募金への協力など
- ⑤広報、啓発活動
児童会新聞、PTA広報、福祉映画会、福祉標語、福祉体験作文、朝会での話など
- ⑥研究活動
各種研修会、各種調査・研究、図書・資料の整備、展示会、専門家との懇談会、福祉大会への参加、研究発表会など